

【めむろ未来ミーティング日程8】

令和4年1月17日（月）

10:00～11:00

祥栄ふれ愛館

■参加者 4人

■芽室町 副町長、環境土木課長、農林課長、政策推進課長補佐、商工労政課長補佐

■記録 今森

■対応・検討が必要な事項

①新庁舎北側の駐車場の出入りがわかりにくく危険な件（都市経営課）

- 1 開会
- 2 副町長挨拶
- 3 町からの説明事項
 - ・公共施設等再配置構想について
 - ・まちなか再生の取り組みについて
 - ・3回目コロナワクチン予防接種について
- 4 意見交換

【意見】

新型コロナウイルスの関係で広報誌に載っている情報が古すぎる。広報が届いた時点で新聞を読むと全く違う情報が載っているという事が多々あった。あの広報を見ると間違った情報が伝わってしまう。町民に届いた時点でどういう情報になるのか確認してほしい。

【副町長】

正直、我々も降りてくる情報が二転三転し振り回されている。間違った情報というより、情報が後から変わっている。

【意見】

情報が変わったというのなら、それを出せばいい話。広報誌を信じたらいいのか新聞を信じていいのか、町民目線で考えなくてはならない。自分たちの仕事中心で考えるからそうなる。その時点では正しくとも変わる可能性があるなら、町民に伝えなくては駄目だと思う。

【副町長】

3回目のワクチン接種の具体的な動きでいうと、広報誌には載せられていない。先週14日の時点で、昨年6月にワクチンを接種した方々に対して個別の案内を出している。

今朝も1月の末にファイザー製のワクチンが潤沢に入ってきたという情報が入り、ではいつ案内を出そうかという話になっている。日々状況が変わっている。その状況を全体の皆さんにお知らせすることも、個別に早くお知らせすることも必要。

ご指摘を真摯に受け止め、個別端末、チラシ配布含めて色々な手段を使いながら正しい情報を迅速に発信していく。

【意見】

まちなか再生について。資料に町民関係者の皆さんと議論を進めてまいりますと書いてあるが、どういう場面でいつ頃なのか、どういう議題でどういうプロジェクトであるのかという説明が欲しい。また、まずこの資料を作った時点で町民関係者の皆さんと相談してなかったのかを知りたい。

やるかやらないかの議論を別として、計画を立てて町民に説明して議論していくのか、それともありきで進めていくのか見えてこない。これは誰が考えて、いくらの予算構成でやるのか、やらないのかゼロ発進なのかありきでやるのかをはっきり伝えてもらわなくては。疑念疑問が多すぎて信用を無くしていると思う。もっと議論しなくてはならないし、もっと事前説明をしなくてはならない。決まったことに対して意見を聞いても変えるのは難しい。どういう進め方するのかをまず教えてもらいたい。

資料のまちなか再生のイメージを見るとインター

チェンジと芽室公園が書かれているが、説明では新嵐山のことばかりだった。新嵐山を中心に考えているのか、どこを中心に考えているのか教えていただきたい。我々川北地区に住んでいる者から見ると、新嵐山はすごく遠い。スキーの関係者や周辺地域の方は利用するかもしれないが、ほぼ利用しない。昭和の時代は芽室町の財産だったかもしれないが、今の時代は財産ではない。

町民還元の施策が全くない現時点で新嵐山を中心に芽室公園やインターチェンジから人を流すといっても信用できない。看板も立ってないし、新嵐山自体は昔からスキーの練習場。他のところから人を呼んで、新嵐山まで本当に連れていけるのか。それでいくらの予算をかけ、費用対効果も含めて、もし上手くいかなかった時の責任は誰が取るのか。

まちなか再生の話。芽室に近い自治体でいうと、更別村はまちなか再生で町中コンパクト集約されている。お金はかかったかもしれないが、すごく利用しやすい村だと思う。芽室町は農協と役場も離れており、空き店舗や古い建物も増えている。私は町に住んで30年経つが、何も変わっていない気がする。建物だけはどんどん建っているが、色々な施設がバラバラで歩いて移動できない。総合的なことで本当に町民の理解を得られ、役場が計画を推進しているかどうかをお聞かせいただきたい。

【副町長】

私どもの進め方が疑念疑問を感じさせているということであれば、それは大変申し訳なく思う。真摯に対応していきたい。

町が全てを決めて、こうしてくださいというやり方自体、私はナンセンスだと思っている。まずは地域の皆さんが自発的な発言、協議をしながら一緒になって進めていくのが基本。まちなか再生も「町が予算を取ってきたから使ってください」ということでは先はないと思う。自分たちがこういう使い方をしたい、そうしたいからこのぐらいのお金がかかる。役場だけでなく、自分たちも一緒にそこで何かをやろうというところが肝だと思う。

今まで中心市街地活性化イコール商業振興、何か

商いをしたり商業集積という風潮があったが、本来はそうではない。地域の皆さんがそこに行く用事が無ければ、まちなかには行かない。その用事は何かあるのか、一緒に話し合っ決めていきたいと思います。いわゆるボトムアップへ方向転換したい。現段階で何かを決めたというよりも、進め方をこういうふうにして今までと変えたいというような考え方に立っている。

極論だが、町民の皆さんと色々な議論をする中で、もう手つけなくていいよという結論になるかもしれない。何が何でも何か作ろうというものではないことをご理解いただきたい。

日々生活している中で川北にお住まいの方がいるように、当然中心市街地にも住まわれている方もいる。その財産を強引に売り買いしてくれという話にはならないので、何かそこに用事が必要かという視点で考えなくてはならない。どちらかというと社会教育的な視点も含めて整理していかないと、なかなか人が中心市街地を歩くというのは現実的に難しいと思う。

まずはそういった話し合いを進めさせていただきたいというのがメイン。商工会や農協マターだとか、役場が中心にということではない。本当に利用者や生活している方々が中心となって話をしていくべきだと思っている。

新嵐山のことを含め、どの場所が中心かというよりは、そこを使う人が中心。人が中心なので、この川北・祥栄地区で生活されている方はここが中心になる。

【意見】

芽室町外で生活していた時期があったが、芽室で外からの評判が良いのは芽室公園。昔は国道38号の坂を下りてくると、今は高速道路を降りて真っすぐ来たら真っ先に芽室公園と柏の樹が目に入る。それを見てこの公園は何だろう、この町は何だろうとなった。中心は新嵐山ではなく芽室公園だと思う。現時点でも芽室公園には外から人が来ている。本来は町民の憩いの場だとは思いますが、西部十勝の人にとっての憩いの場にもなっている。それをもっと活用

すればいい。

芽室のインターチェンジも全然有効利用できていない。工業団地の土地が売れているのは、全部高速のインターチェンジがあるお陰。

新嵐山には申し訳ないが、高速のインターチェンジから芽室公園のラインに人を呼ばない限り、人は来ない。なぜあんな南方面にお金をかけようとしているのか、理解できない。

町民に幅広く意見を聞いて、何を望んでいるのかをベースに施策を作してほしい。金額のことはここでは言わないが、新嵐山にお金をかけたいなら、その前に農業予算にお金をかけることは多々あるはず。予算の使い方が間違っている。それは町民目線になっていないし、農民目線になっていない。何が必要か分からないなら農業者、商工業者に聞きに来たら良い。去年の4月の人事異動から、役場の評判が悪い。何の引き継ぎもされておらず、多大な迷惑を被った。

感染症対策として仕方がないかもしれないが、未来ミーティングの時間が短い。話す時間が足りないし、時間が短いのは聞く耳を持たないということ。今回は仕方がないにせよ、町長・副町長の2班体制は駄目だと思う。

【副町長】

様々なご批判をいただいたが、真摯に受け止めた。

信用を失っているとすれば、それを取り戻すために何をすべきか徹底的に整理をしていかななくてはと思う。今年の7月には選挙も控えている。軽々しくは言えないが、それを意識しながらしっかり対応していきたい。

人事に関してご意見もしあるとすれば、個別にお話しをお聞きしたい。仕事自体がそれで滞ってしまうことにはならない。地域の皆さんの困りごととは、具体的などころも含めてきちんと整理をさせていただきたい。

新嵐山については様々なご意見をいただいている。今のままで良いとは思っていないので、改めて方向性も含めて整理しなくてはならないと思っています。

る。

町外から人に来てもらう取り組みは、新嵐山が全てではない。ただ、新嵐山に来るお客さんを他に繋ぐというのも重要な視点なので、そこも含めて整理をしていきたい。それぞれの取り組みが点で完結するのではなく、結んで線にして面にしていかななくてはならない。

基本姿勢として「決まったからやってくれ」というのはあり得ない話なので、しっかり意見を聞きながらより良いものにしていきたい。

【意見】

まちなか再生について意見したい。今、仲間内で昔あった芽室のまちなかの地図を作っている。

空白の地図でも良いのでどこかに掲示して「昔こんなものがあったよね」「こんな所がよかったよね」と書き込んでもらって、まちなか再生の叩き台にするのはどうだろうか。色々な人の意見を貰うのには有効な手法だと思う。

いいときの時代を振り返ってイメージすると、次の発想が生まれてくると思う。多くの町民の方に参加してもらうには、目を惹く取り組みが必要。皆さんのまちなかに対する関心が高まるのでは。

【副町長】

古い地図を見ると「ここがこうなっていたのか」と興味をそそられることがある。見るのも大事だが、何か一緒に作業しながらというのも良い。アイデアのひとつとして頂戴したい。

【意見】

まちなか再生は商店街の問題ではない。離れているから歩けない、車が停められないのでは人は来ない。

芽室町内を見ると、土地はあるのに車を停めるところがあまりない。公共の駐車場を設置して共有するのも一つの案。古い建物もすごく残っているので、あれをどう解消するのも課題。

小さい町なのだから、まちなかは駅前の東西南北を中心にコンパクトで良い。商店などの柵もあると

思うが、それを解決するのが行政の仕事。

【副町長】

昔、盆踊りや秋祭りで中通りの十字路が多くの人で賑わった記憶がある。あれを再現というわけではないが、そこに行きたいと思うひとがいれば、当然人は集まる。人を呼び来むには楽しめるイベントも必要かもしれない。普段使いとしてあそこに行くには行って誰かと会うとか、そういった用事を作る必要があると思う。

【意見】

昔あった色々なお祭りはもう無くなってしまった。ばんえい競馬の取り組みのようにインターネットを活用したり、電子決済の会社と共同するのも良いかもしれない。他の町にはない企画を全面に出した方が良い。中途半端は良くない。

【副町長】

トップランナーで行くべきものと、二番煎じで行くものを見極めなくてはならない。美味しい所を取ってうまくやる方法もあれば、先取りでいくという方法もある。これはセンスというか、戦略だと思う。どこにどう向かっていくという整理が必要。

【意見】

高速道路の四車線化が人を呼び込むチャンスになると思う。道道54号を、市街地まででも良いので使いやすくしないと人は来ない。

音更は道の駅含め道路の整理もそれを見越してやっている。そのくらい先を見なくてはならない。

【副町長】

いま芽室に流通業のオファーが来ている。足寄、陸別まで高速道路が繋がる、広尾まで行くとなった時に、玉ねぎのルートも変わるかもしれない。

今は旭川経由でJRの貨物列車で行っているが、陸送でこちらに入って、釧路と苫小牧に分かれるのではという話を聞く。

そうなると、絶対にハブというかヘッド交換の場

所が必要になってくる。その場所として一番いいのは芽室。芽室でその場所を作るとなれば線路から南側。農地との兼ね合いもあるが、超法規的に動く必要もあるかもしれない。

【意見】

農村部に農地法に反していると思しき事業所がある。建物があるせいで、耕作地に農業者の大型機械が入っていきず、揉めたこともある。何とかならないか。

【環境土木課長】

当該事業者は把握しており、これまでも何度も赴き指導している。工業団地への移転の話も含め話しているが、すぐにというわけにはいかない。町としては、引き続き粘り強く指導は続けていく考え。

【意見】

地区の旧小中学校跡地について、整備の考えをそろそろ提案した方が良いと思う。

【副町長】

現在、農村地域の集会施設など統廃合含めて整理をしている。その中で、学校や保育所の跡地の問題も出てきている。そのまま何も使わず維持管理するのも勿体ない話なので、地域の皆さんが使うのであれば使って欲しいですし、使わないのであれば売却も選択肢に入れなくてはいけない。

【意見】

地域にもよるが、使わないのでは。あれば年に何度か集会で使うことはあるかもしれない。

売るのは勿体ないので、流通関係の事業者などに賃貸してもいいと思う。町の財産なので、売っては元も子もない。

【意見】

雪が降って風が吹くと、道道54号での事故が心配。耕地防風林、道路の拡幅も含め、総合的に考えてもらいたい。5年度ではなく10年、20年後に自

分たちの子どもが大人になった時に不便しないようにするべきだと思う。

【副町長】

別会場でも同様の話をいただいている。いま道路があるからこれを維持していくというのも、10年後20年後を考えると現実的には厳しくなってくる。例えば伏古地区でいえば奇数の西線は中途半端な整理になっている。それは本当に必要なのか検証し、偶数の線を広げてそこに統合するというような極端な発想もあると思う。そのくらいの発想で議論なくては、これからずっと維持するのは難しい。

【意見】

農機も大きくなっており、昔の基準で作られた道は多少拡張してもきつい。全路線でなく偶数・奇数の線だけでも良いので、整備すべきだと思う。今後の農業を考えていくのであれば、今の幅では狭すぎる。

【副町長】

農業者の方々の経営規模が拡大し、機械も大きくなっている。細かい部分まで詰め切れてはいないが、関係機関とも調整していきたい。

【意見】

新庁舎の駐車場は危険だと思う。年配の方は出口側から入ってきて後ろ向きに停めて、入口側から出て行ってしまう。そのうち事故になるのでは。①

【副町長】

年配の方への配慮としてあの配置にした方が良いとの提言を受けて現状のようにになっているが、上手く機能していないところもある。

これから確定申告で込み合う時期なので、その後の整備で間違った方向には物理的に進めないようにするのか、表示を見やすくするのか検討したい。

【意見】

新庁舎は空調関係含め、使いやすいのか。

【農林課長】

旧庁舎に比べ、かなり使いやすくなった。職員からも今大きな不具合があるだとか、全く使いづらくて困っているという話は出ていない。

【意見】

混雑しているときなど、町民がどこかで暇を潰す居場所がないと感じる。全部見渡せるので職員は仕事をし辛いのではないかな。

【副町長】

状況により、別部屋に移動して仕事をすることもある。役場の安全衛生委員会、公民館やあいあいから来た職員からも快適だという意見が出ている。

利用する町民の方からは今までの役場のイメージと比べて、どこに誰がいるのか分かりにくいという意見はいただいている。

【意見】

公立芽室病院は新型コロナウイルスの患者をまた今受け入れているのか。

【副町長】

患者は入っており、最近では3人受け入れている。

【意見】

新型のオミクロン株の患者でも受け入れているのか。入るときは新型株かそうでないかは分かっているのでは。

【副町長】

札幌でしか判定はできないので、一部オミクロン株か分かっていない時もある。新型コロナウイルスの患者であると確定していても、株の種類までは公立病院では分からない。



11:00 終了